

作業量と燃費を両立するってできますか？

実際の使われ方を、もう一度見てみましょう。

目一杯とばして走っても、積み込み場や排土場でずいぶん待たされる、ということはありませんか？
それならば、少しアクセルを弱めて運転しても仕事量は変わらずに、燃費を良くできます。



省燃費運転の勧め

基本は皆さんが乗用車を運転するのと変わりません。控えめな加速を心がけ、加減速を繰り返すような運転は避けましょう。

以下はダンプ特有な使い方

- ・ ハンドルをエンドまで切るのは控えましょう。
- ・ 登坂時、平坦走行時はエンジン回転を低めに、降坂時はエンジン回転が高めになるようギヤを選択しましょう。(AT車は、シフト段を固定する場合に留意)
- ・ ホイスト操作時のアクセルは、ほどほどに。

※ 降坂、惰行の際にギヤをニュートラルに入れるのは、エンジンのオーバーランやブレーキ能力の低下につながりますので行なってはいけません(車両によっては保護制御が働き、不可になっています)



エンジン出力を制限したり、変速のタイミングが早くなるモード選択機能を持った車両は、状況に応じて切り替えてみましょう。また各社、作業量や走行時間/待ち時間など使われ方を記録できる装置(データロガー)を用意しています。配車、運行計画に活用することで生産効率(生産量÷燃費)を高めることができます。